



R4年 11月

市野谷つばさ保育園

日が暮れるのが一段と早くなり、朝晩の冷え込みに晩秋の訪れを感じます。

先日の幼児組徒歩遠足では、ゆり組は初の一本桜公園へ、ばら・ひまわり組は話し合いで当日の遠足コースを自分たちで決めて出発しました。葉っぱの色や木の様子、どんぐりなど公園や外の景色のあちこちに秋を感じられ、子どもたち自身に見つけた秋の写真を撮ってもらったり、たくさん歩きたくさん公園で遊んで目一杯体を動かしました。そして何よりずっと楽しみにしていたお家の方の愛情たっぷり弁当♡みんなの嬉しそうにたくさん食べていた表情が忘れられません。

車などでの遠出もいいですが秋空の気持ちの良い季節、時には家族みんなで歩いて遊びに行くのも良いかもしれませんね！



11月の行事 予定

2日(水) 内科検診

17日(木) 避難・消火訓練(総合)

22日(火) 収穫祭

8日(火) 乳児身体測定

18日(金) お誕生会

29日(火) 発表会予行練習

10日(木) 幼児身体測定

★各クラスにて行います

★詳細は後日

お知らせします

Society5.0(ソサエティ5.0)

『Society5.0』という言葉をご存じでしょうか？これは日本が提唱する未来社会のコンセプトで、サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会です。狩猟社会(Society1.0)、農耕社会(Society2.0)、工業社会(Society3.0)、情報社会(Society4.0)に続く新たな社会を指すもので、第5期科学技術基本計画において我が国が目指すべき未来社会の姿として初めて提唱されました。これに伴い技術革新が進む将来に向け、子どもの力を最大限に引き出し個別に最適化された学びを実現させていくことが重要となり、学校教育も変わることが求められます。

従来の教育では教師による一斉授業や同じ教室で授業を受けることが普通でしたが、これからは子どもの理解度や認知の特性に応じて自分のペースで学べるような子ども主体の学びや、教室になじめない子どもが教室以外の空間でも学べるようタブレットなどを使い教室以外でも学べる選択肢を広げるなど、「そろえる」教育から「伸ばす」教育へ転換し、子ども一人ひとりの多様な幸せ(well-being)の実現を目指します。

このような社会の流れの中で私たち保育園でもどんなことができるか、日々考えさせられます。「〇歳児だから」「〇年生になったから」と外から見える年齢でつい子どもたちの出来ることを判断してしまったり、ここまで出来なければならないという物差しで見ってしまうこともありがちですが、一人ひとりの発達を保障しそれぞれのペースに合わせていくことが大切だと思います。いつもやってもらったり教えてもらってばかりでは子どもたちも受け身になってしまい、やってみたい！という意欲もなくなっていくてしまいます。一人ひとりがやりたいことを納得いくまで取り組んだり、自分の興味・関心があることを積極的にやってみようと思っ行動に移せることこそがこれから子どもたちに求められる姿なのではないでしょうか。

日々子どもたちが過ごしている社会(保育園)の中で主体的に関わることを目指し、その中で友だちや先生に自己主張しながらコミュニケーション力を養っていけるように促しています。「子どもの興味や意欲を引き出すには？」「一人ひとりに合った活動とは？」など子どもたちが主体的に活動し、それぞれの個性を認め合い、自律へと保障していく保育こそが私たちに取り組んでいる見守る保育なのです。

お知らせ

★3歳児担任野津山智子が結婚し、水野智子になりました。

★新年度に集めさせていただいている雑巾とティッシュがなくなりそうなので、再度雑巾 1枚、ティッシュ 1箱を集めさせていただきたいと思います。お手数ですがご協力をお願い致します。

子ども食堂って何？

☆子育て支援だより☆

皆さん子ども食堂とは、どんなところか知っていますか？聞いたことはあるけれど、どんな取り組みをしているところか分からない方も多いと思います。今回は、流山市にある子ども食堂についてご紹介いたします！

子ども食堂とは・・・

主に市民の方による取り組みで、無料または安価で栄養のある食事がとれる地域の居場所の事を言います。地域住民の方とのコミュニケーションを取りながら、共食ができる場としても利用されています。子どもから高齢者まで、誰でも自由に参加できるようになっていて、流山市には**16個**の子ども食堂があります。（2022年7月の段階でコロナの影響で休止している食堂有）
現在新型コロナウイルスの影響で、会食での子ども食堂の開催が難しい場合があり、違った方法で開催されているところが多くあります。その一つが**フードパントリー**です。

フードパントリーとは、地域の方からの寄付などで頂いた食材や日用品、野菜などを無料で提供している取り組みです。コロナ禍では、先着順でマスク着用、エコバック持参、三密にならないように並ぶことなどを事前に呼びかけ、手渡しではなく、置いてあるものを取ってもらうといったように工夫をして開催されていました。（ふれあい食堂向小金参照）

その他にも、スタッフの方が作ったお弁当を配布・販売する取り組みなども行われています。子どもは無料で、大人は安価で購入できるなどの工夫がされています。（みんなの江戸川台キッチン参照）

新型コロナウイルスの状況を見て、少しずつ会食での子ども食堂が開催されている箇所もありますが、マスクの着用や間隔を空けての実施や人数制限などが行われています。（千葉県生涯大学校子ども食堂参照）

また、食に関する事だけでなく、ランタン作りや朝市などの楽しいイベントを開催している団体もあります。（あつまれ西深井の森参照）

そして、「**とうかつ草の根フードバンク**」では、余った食材を預かって保管したり、必要な家庭や子ども食堂に届ける等の取り組みも行っています。

詳しくは、流山市のホームページからご覧いただけます。また、流山子ども食堂ネットワークの公式LINEからは、食材配布などのイベント案内や個別の食材配布の申し込みができます。是非参考にしてみてくださいね♪

流山子ども食堂ネットワーク
公式LINE



保育目標

- すみれ→・安全な保育環境の中で探索活動をして、体を動かして遊ぶ楽しさを知る。
 - ・自分の欲求を行動や言葉で保育者に伝えようとする。
- つくし→・歌や楽器、なりきりごっこなど、表現遊びを楽しむ。
 - ・秋の自然に触れ、季節の変化を感じながら散策を楽しみ、戸外では身体を動かして楽しむ。
- たんぽぽ→・気温差に留意した環境の中で健康的に過ごす。
 - ・秋の自然に触れながら散歩を楽しむ。
- ゆり→・製作や劇遊びなどを通して表現する楽しさを味わう。
 - ・友だちと一緒に1つのことをする楽しさややり遂げる満足感を味わう。
- ばら→・友だちと協力して1つの目標に向かって頑張ろうとする。
 - ・さまざまな活動を通して表現の楽しさを味わう。
- ひまわり→・自信を持って堂々と表現することを楽しむ。
 - ・友だちと意見を出し合い、イメージを膨らませながら遊びを展開させる。

